

あだたら

七月二十五日(日)

箆山下登山道整備一回目

報告 編集部

第393号

発行所
郡山市喜久田町
あだたら山部
編集



休み場の下、挟れた登山道の南側道幅広げた

【参加者】 □□□、□□□、□□□、□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□、□□□□□□(七名)

【行動】当日は奥岳八時集合。集まったのは、希望者六名の内、□□さん□□さん、□□の三名、他に当日参加の□□□□さん。他の三名は遅れるとの連絡有り。なので四名でスタート、馬車道を登る。登山道では

●編集部連絡先
二本松市郡内1-515
0243(22)4246
Fax可 渡辺 正

コバギボウシのムラサキの花、一杯咲いていた。八之字の頭の下、馬車道と近道の接点に階段材料置いてあった。おそらく近道に階段設置されるのかも知れない。ヨツバヒヨドリ咲いている辺りだ。
まずは勢至平分岐からハンノキ林の出口まで行って、その間の要手入れ箇所を確認しようと言う事になった。□□さんはお得意の道幅拡張工事のため、□□さん□□さん□□三名で、ハンノキ林に向かう。七月なのにもうツルリンドウ咲いていた。アカモノも実を付けていた、まだ美味しくない。ホツツジ・オトギリソウも咲いていた。ちょっと高いところから見ると、ノリウツギの白い花が一番上に咲くのでまるで白い原っぱだ。休み場の下では、八重白山シャクナゲも一株だけ花残っていた、GPSで位置出した。
ハンノキ林出たところで昼食。そこで休み場の五葉松、通過支障なので伐採。下山しながら登山道整備、ハンノキ林内の通過支障木排除、枯れ木沢山。出たところではノリウツギが足下に張り出しているので刈り



箆山下の八重白山シャクナゲ

取り。この辺で□□さんと合流。旧道分岐の下には、コンクリート杭の急な階段があるが、階段が崩れて、とても通りにくい。パイプの足場など利用して階段造った方がよい。休み場の下では、挟られた道の岸の南側を切り開いて、通り易くした。ちょっと時間掛かった。このあたりからは、□□さん、□□□□□□さん□□さん達の作業で、挟られた道の岸が広げられて、通りやすくなっている。やがて烏川橋。昨年八月の作業で大分さっぱりしたが、残っていた枝を刈払って、一段と綺麗になった。奥岳着は午後五時一寸前、途中作業やり過ぎだった。
今回全員集合での写真撮れなかった。皆さん、スマホでもいいので、参加者の写真撮っておいて下さい。編集部にて御連絡下さい。



12時33分、ハンノキ林出口



ノリウツギ、刈り取り中



旧道分岐の下、一番荒れた場所



刈り取り作業中



16時24分、烏川橋作業終了



挟られた道の南側、広げられた登山道

七月十三日(火)
**磐梯・吾妻・猪苗代エリア
 地域満喫プロジェクト**
 報告 □□□□



会場は 福島市、ラコパ福島

先日、環境省主幹の地域満喫プロジェクト説明会に参加してきました。内容としては国立公園の商業利用、SDGsに合わせた登山道などの持続可能な環境整備について今後、分科会を作り話をしていくそうです。なにをやるかは多くの未定でそれをこれから各分科会で分かれて話し合っていきます。

当会は登山道整備、登山者安全などに関係する部会

に入りませんが今後の登山道整備も当会で続けるのか？どこか新しい組織ができたら返上するの？などなど広く意見を伝え会員からも募集をしたいと思っています。

他の山岳会に聞いても会員の減少&高齢化で満足に整備などできず悩んでいるとの事から当会も昨年は参加人数が少なく多分にご協力をお願いした方もいらっしゃると思います。長年の歴史や伝統も勿論大事ですがこれ

からの未来を考えた上で固定概念にとらわれずに広く考え方を教えて頂きたいです。

意見すべき事は代表として伝え、変わらなくてはいけない部分は当会も変化していけないといけないと考えておりますので様々な意見やご経験を是非、例会などでお話ください。

七月二十日(火)
本宮市・幼児の家保育園ガイド
 報告 事務局



□□会長

山頂に園児達が上がってきた、元気だ

【参加者】□□□、□□□□(二名)

【行】動保育園の年中、年長の園児と 保護者職員の団体登山だ。しかし大人は大人だけで、子供は子供だけで、別々に登らせる。ちよっと考えれば一緒に登って、保護者が手出し足出ししないと、ケガしたり、泣き出したりして登れなくなるかもと「心配になる」かも知れない。ところが、園児が、急な樹氷坂の骨組みはコンクリート柱だが、詰め物だけになってしまっている場所も、急な登りも、両手両足で、うまく障害物避けてちゃんと登る。おそらく父兄が一緒だと手を引いたり抱き上げたりして、かえって不都合なのかも知れない。とても良いことだと思う。父兄は休憩場所に先行して待っている、園児はそこまで自力で登って来て駆け寄る。

大雪田、今年が当たり年のコバケイソウが沢山。その上の水平道で八重白山シヤクナゲ二株新発見。

山頂には アカトンボが一杯いた。元はそれこそ、口開いたらアカトンボ入って来る、と言うくらい居たのだから、まだ七月それ程ではない。ロープウェイではイルミネーションの準備始まっていた。

【参加者】□□□、□□□□(二名)

【行】動保育園の年中、年長の園児と 保護者職員の団体登山だ。しかし大人は大人だけで、子供は子供だけで、別々に登らせる。ちよっと考えれば一緒に登って、保護者が手出し足出ししないと、ケガしたり、泣き出したりして登れなくなるかもと「心配になる」かも知れない。ところが、園児が、急な樹氷坂の骨組みはコンクリート柱だが、詰め物だけになってしまっている場所も、急な登りも、両手両足で、うまく障害物避けてちゃんと登る。おそらく父兄が一緒だと手を引いたり抱き上げたりして、かえって不都合なのかも知れない。とても良いことだと思う。父兄は休憩場所に先行して待っている、園児はそこまで自力で登って来て駆け寄る。

大雪田、今年が当たり年のコバケイソウが沢山。その上の水平道で八重白山シヤクナゲ二株新発見。

山頂には アカトンボが一杯いた。元はそれこそ、口開いたらアカトンボ入って来る、と言うくらい居たのだから、まだ七月それ程ではない。ロープウェイではイルミネーションの準備始まっていた。

七月二十日入会
 □□□□(昭・・・・)

【新入会員】



水平道の八重白山石楠花



無事下山して(工事中の)イルミネーションで記念撮影

◆三日会報作成中に、十四時三十分、吾妻縦走パトイから携帯電話で家形山到着の連絡、一安心。

◆暑いですが、四日は朝既に室内で二十八度、これがここ四〜五日続いている。会報作り気を使うので、大変。沢は涼しいのかなーと思いつながら作業中。

◆個人山行の記事下さい、メールだと有り難いのですが、手書きも歓迎、FAXも受信できます。

編集後記
 三九三号